第7章

広報活動

白川緑の区間（熊本市）

第 7 章 広報活動

7-01 会員ニュースの発行 …… 89

7-02 展示会・日比谷公園ガーデニングショーへの参加継続 …… 91

7-03 ホームページ開設とリニューアル …… 92

7-01

会員ニュースの発行

街路樹診断協会の支部設立、協会の一般社団法人化、連絡事務所の設置、委員会制度の本格的な運用など協会活動が広がり充実していくとともに会員の数も増えました。そして首都圏から関西、九州へと広がっていったため、会員に協会の活動状況をお知らせし、情報を共有することを目的として第７期（2015年９月～2016年８月）の１月に、会員ニュース「GAISHIN NEWS」No.1を発行しました。

また、会員の交流の輪が広がるきっかけとなるよう、会員のページを設け、毎回各支部から１名の方に、自由なテーマでコラムを執筆していただいています。

第11期（2019年９月～2020年８月）には広報委員会が発足し、担当が事務局から広報委員会に移行しました。広報委員会で各号の内容を検討・決定し、紙面には各委員会の活動報告を掲載するようになりました。

協会の運営ビジョンと活動方針に基づく各期の活動・講演・研修・学会発表の内容を会員に伝えるため、現在は１期２回発行しています。また、発行の１か月後に一般にも公開し、協会の活動を社会にも知らせる媒体となっています。

会員ニュース 第１号～第15号の主な内容

第１号　2016年１月１日 発行

・緑あふれる都市づくり街路樹診断技術の向上と普及を目指して
・第七回定時社員総会を開催
・台湾で街路樹診断協会方式の樹木診断導入
・街路樹診断技術研修会を開催

第２号　2016年８月10日 発行

・街路樹診断士資格制度について
・街路樹診断導入20周年記念講演会
「世界に誇れる街路樹の形成を目指して　～これからの街路樹と街路樹診断のあり方～」

第３号　2017年１月１日 発行

・信頼される街路樹診断士と社会貢献を目指して
・第八回定時社員総会を開催
・サクラ診断の目　土壌や根元に注意
・だれが守るの、サクラの木　みんなで守るサクラの木！
・信頼される街路樹診断カルテの作成を
・信頼される街路樹診断士と社会貢献を目指して

第４号　2017年８月１日 発行

・街路樹診断について、そして今後に向けて
・根株腐朽予防対策と国際交流の勧め
・台湾発連絡事務所だより　５つの土壌改良工法の試験、コストと効果を評価
・街路樹診断士として大切なこと

第５号　2018年５月25日 発行

・街路樹診断協会創立20周年に向けて、第九期の活動が進んでいます
・都市樹木の診断を視野に活動を
・サクラ類の昨今の病害虫事例

第６号　2018年８月31日 発行

・海外に広く情報発信できる協会を目指して
・世界で広がるアーバンフォレスト政策と街路樹について
・研修会トピック
緑のトリアージ／複数の技術者による「危険度診断」の差異比較／TreeAZ／ISA大会でのトピックス

第７号　2019年１月31日 発行

・第十回定時社員総会を開催
・ISA総会参加報告とアーバンフォレスト政策の概略について
・街路樹診断士に求められていること、街路樹診断士として必要なことを再確認する
・レジストグラフ使用調査における注意点と機器メンテナンスについて

第８号　2019年11月30日 発行

・第11回定時社員総会を開催
・上杉哲郎新会長挨拶
・新ビジョンと11期事業計画
・20年を振り返って　神庭正則前会長

第９号　2020年６月30日 発行

・アフターコロナとアーバンフォレスト
・グリーンインフラの推進
・国際シンポジウム「世界のアーバンフォレスト政策と樹木のマネジメント」のQ&A

第10号　2021年１月１日 発行

・コロナ禍における協会活動
・第12回定時社員集会を開催
・総会講演　「街路樹診断の課題と樹勢悪化・腐朽の原因と対処」
・街路樹診断の原点：東京都の街路樹診断導入の頃
・財団法人 大安森林公園之友基金会よりの報告
・土壌改良工法別の発根量の違いについて
　－台北市大安森林公園における樹勢回復試験から－

第11号　2021年６月１日 発行

・街路樹診断マニュアル（東京都版）が改定されました
・関西支部、九州支部に新支部長が就任しました
・連載講座アーバンフォレストシリーズ 1
　アメリカのアーバンフォレストへの取り組み

第12号　2021年12月25日 発行

・地球温暖化とアーバンフォレスト
・第13回定時社員総会を開催しました
・総会講演概要　「グリーンインフラとこれからの街づくり」
・街路樹診断協会25周年記念誌企画 座談会概要
　第１回「街路樹診断協会のあゆみ」（黎明期～創業期）

第13号　2022年６月１日 発行

・樹木の生命力と人の活力
・街路樹診断協会25周年記念誌企画 座談会概要
　第２回「街路樹診断協会のあゆみ」（展開期：マテック博士講演会～法人化まで）

第14号　2023年１月15日 発行

・生物多様性とアーバンフォレスト
・第14回定時社員総会を開催しました
・総会講演概要　「ISAについてとアーボリストの役割」
・街路樹診断協会25周年記念誌企画
　「次世代の樹木医が見据える都市樹木の未来座談会」
・樹木医学会第27回大会発表要旨
　「切断された根系直径と発根量の関係および切断箇所の処置方法」

第15号　2023年７月１日 発行

・街路樹診断士認定講習テキスト改訂特別委員会について
・街路樹診断協会25周年記念誌企画　座談会概要
　第３回「街路樹診断協会のあゆみ」（発展期：法人化以降）

GAISHIN NEWS
一般社団法人 街路樹診断協会
会員ニュース No.10(2)／2021年1月1日
〒108-0074 東京都港区高輪3-4-1
TEL:03-6447-7288FAX:03-6450-2274
http://www.gaishin.com

コロナ禍における協会活動
会長　上杉哲郎

前号(No.9、6月30日発刊)の巻頭言で「アフターコロナとアーバンフォレスト」を書きました。それから約半年が経ち、5月28日に世界で570万人の感染者と35万人の死者、日本で16,807人の感染者と883人の死者だった数字は、現在(12月3日)では、世界で6,436万人の感染者と149万人の死者、日本で152,827人の感染者と2,213人の死者にまで膨れ上がり、COVID-19の感染状況はとどまるところを知らず、世界各地で感染拡大が続いています。今現在、日本も第３波に見舞われ、感染者数が急増しつつあります。

コロナ禍のもとでは、感染予防のために三密(密閉、密集、密接)回避が求められ、様々な行動に制約が出ています。特に飲食や集会は注意を要する行動とされ、協会の活動も制約を受けています。理事会や委員会はWeb会議により活動を続けていますが、2020年の街路樹診断士認定・更新講習会や技術研修会は開催を断念せざるを得なくなりました。誠に申し訳ない思いです。10月の総会は、理事や委員長等の執行部のみ会議場に集まり、会員企業の皆様にはオンラインで参加いただく形式としました。本来、年1回の総会と懇親会は、会員の皆様が直接交流し、意見交換する最大の機会であり、協会の活動の中でも極めて重要なものと考えますが、そうした機会が失われたことは誠に残念でなりません。慣れないWeb会議に戸惑う方も多かったのではないかと思案しますが、総会自体は皆様のご協力により何とか無事に成立するとともに、Web講演会も滞りなく開催できました。

中等症・重症例ではレムデシビル、デキサメタゾンという治療が標準化されるとともに、ワクチンや治療薬の開発が進むなど、明るい兆しもあります。しかし、まだまだ予防の徹底など慎重な行動が必要で、今後の協会活動は、コロナ禍に対応した考え方や取り組み方が求められています。協会の活動としては、①会議や講習会等の集会、②総会等での会食、③現場に集まっての確認や作業、④普及啓発活動などがあります。集会については、Web会議にも慣れてきており、人数が多くても何とかこなせるようになってきています。対面式集会は、人数制限や会場における感染対策の徹底を見込めば可能性はあると感じており、その実施方法について探っていきたいと思います。総会、理事会、委員会、講習会の座学は、Webや対面方式を適宜選択したり組み合わせたりしながら実施していくことが可能でしょう。会食については、マスクを外す必要があり、特にお酒が入るとついつい会話が弾み感染リスクを高める恐れがあります。大人数での会食は相当慎重な対応が求められると思います。

一方、理事会などでは、会議終了後に有志でオンライン懇親会を開催していますが、情報交流の場としてそれなりに使えるのではと思っています。感染拡大状況などもにらみつつ、できればリアルでの会食も可能性を探っていきたいと思います。講習や研修など現場での活動については、大勢の人が集まることには慎重さが求められますが、屋外での活動であり、人数を絞れば十分可能と考えられます。このため、１回を小人数にして移動距離の少ない各地で実施する方式などが考えられます。実現に向けては、実施体制や方法の検討が進められればと思います。普及啓発については、逆にチャンスにもなりうると考えられます。Webでは一か所に集まる必要がなく地方在住者でも手軽に参加することができます。協会の活動を支部のない地域の人も含めた多くの人に知ってもらうことが簡単にできるのです。これまでの活動の集積と知見をうまく活用して、「活力ある都市樹木と人材を育み、アーバンフォレストを生み出す」という協会のビジョンと技術的蓄積・知見を普及啓発することが期待できます。

COVID-19の感染状況が今後どのように展開するかは予測できませんが、むやみに委縮することなく、でも状況に応じて慎重に、コロナ禍での協会活動を展開できればと考えています。会員の皆様の引き続きのご協力とご理解をよろしくお願いします。

総会の会場の様子

理事会後のオンライン懇親会の様子

2021.1 1/17

GAISHIN NEWS
一般社団法人 街路樹診断協会
会員ニュース No.13／2022年6月1日
〒108-0074 東京都港区高輪3-4-1
TEL:03-6447-7288 FAX:03-6450-2274
https://www.gaishin.com

樹木の生命力と人の活力
副会長　笠松 滋久

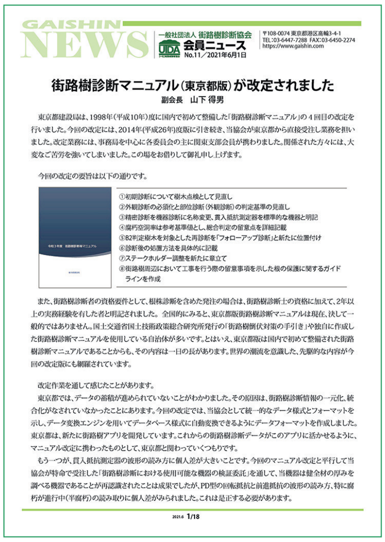
美しい新緑が街中にあふれ初々しい気持ちになる季節となりました。しかし世界に目を向けてみると、この原稿を書いている4月25日現在、ロシアによるウクライナの軍事侵攻が始まり２ヶ月が経過しました。多数の死傷者を出し壊滅した街の映像をみると心が痛みます。このGAISHIN NEWS 13号が発刊される頃には平和が戻っていることを願うばかりです。

ウクライナは「土の皇帝」とも呼ばれる世界でもっとも肥沃な土壌とされるチェルノーゼムが分布しています。黒く腐植に富んだチェルノーゼムは世界でもっとも生産性が高く優れた土壌として知られています。もちろん樹木の生育にも適した土壌となるわけですが、1986年のチョルノービリ(チェルノブイリ)原発事故の際もチェルノーゼムが汚染されてはいないかと気を揉みました。現在の戦争による被害も気がかりです。

廃墟となったウクライナの街並みの映像をみますと、攻撃のすさまじさと人間の狂気に震えます。建物が破壊された映像には傷ついた樹木も多く映ります。この地での落葉樹はようやく新芽が芽吹きそうな状況です。
廃墟の中で残った緑は人の心を少しでも癒してくれるのではないかと思っています。広島や長崎で被爆樹木が保護されているように、陸前高田市の奇跡の一本松が保護されようとしたように、樹木は荒廃した街においては希望のシンボルとなり癒しと希望を与えます。大火や津波を生き延びた木、焼け焦げた幹や枝から再び芽吹いた樹木は、被害にあった人々の心を癒し未来に向かって生きる活力のもととなったことでしょう。

私たち街路樹診断協会ではアーバンフォレストの普及推進を図ってきました。緑のもたらす各種機能を有効に活用すべく、健全な都市樹木の育成や樹冠の拡大を推進・推奨しています。樹木がもたらす暑熱環境改善、省エネ、CO2削減、雨水流出抑制、樹冠遮断、生物多様性などのメリットを通じて、人々の暮らしを豊かにしようと取り組んでいます。
樹木のもたらす機能面に焦点をあて、その効用を最大限に発揮するために都市樹木を健全に育む取り組みをおこなってきました。

2022.6 1/14


GAISHIN NEWS
一般社団法人 街路樹診断協会
会員ニュース No.11／2021年6月1日
〒108-0074 東京都港区高輪3-4-1
TEL:03-6447-7288 FAX:03-6450-2274
https://www.gaishin.com

街路樹診断マニュアル（東京都版）が改定されました
副会長　山下 得男

東京都建設局は、1998年(平成10年)度に国内で初めて整備した「街路樹診断マニュアル」の４回目の改定を行いました。今回の改定には、2014年(平成26年)度版に引き続き、当協会が東京都から直接受注し業務を担いました。改定業務には、事務局を中心に各委員会の主に関東支部会員が携わりました。関係された方々には、大変なご苦労を強いてしまいました。この場をお借りして御礼申し上げます。

今回の改定の要旨は以下の通りです。

①初期診断について樹木点検として見直し
②外観診断の必須化と部位診断（外観診断）の判定基準の見直し
③精密診断を機器診断に名称変更、貫入抵抗測定器を標準的な機器と明記
④腐朽空洞率は参考基準値とし、総合判定の留意点を詳細記載
⑤B2判定樹木を対象とした再診断を「フォローアップ診断」と新たに位置付け
⑥診断後の処置方法を具体的に記載
⑦ステークホルダー調整を新たに章立て
⑧街路樹周辺において工事を行う際の留意事項を示した根の保護に関するガイドラインを作成

また、街路樹診断者の資格要件として、根株診断を含めた発注の場合は、街路樹診断士の資格に加えて、2年以上の実務経験を有した者と明記されました。全国的にみると、東京都版街路樹診断マニュアルは現在、決して一般的ではありません。国土交通省国土技術政策総合研究所発行の「街路樹倒伏対策の手引き」や独自に作成した街路樹診断マニュアルを使用している自治体が多いです。とはいえ、東京都版は国内で初めて整備された街路樹診断マニュアルであることからも、その内容は一日の長があります。世界の潮流を意識した、先駆的な内容が今回の改定版にも網羅されています。

改定作業を通して感じたことがあります。
東京都では、データの蓄積が進められていないことがわかりました。その原因は、街路樹診断情報の一元化、統合化がなされていなかったことにあります。今回の改定では、当協会として統一的なデータ様式とフォーマットを示し、データ変換エンジンを用いてデータベース様式に自動変換できるようにデータフォーマットを作成しました。東京都は、新たに街路樹アプリを開発しています。これからの街路樹診断データがこのアプリに活かせるように、マニュアル改定に携わったものとして、東京都と関わっていくつもりです。
もう一つが、貫入抵抗測定器の波形の読み方に個人差が大きいことです。今回のマニュアル改定と平行して当協会が特命で受注した「街路樹診断における使用可能な機器の検証委託」を通して、当機器は健全材の厚みを調べる機器であることが再認識されたことは成果でしたが、PD型の回転抵抗と前進抵抗の波形の読み方、特に腐朽が進行中(半腐朽)の読み取りに個人差がみられました。これは是正する必要があります。

2021.6 1/18

7-02 展示会・日比谷公園ガーデニングショーへの参加継続

日比谷公園ガーデニングショーは、日比谷公園開園100年を記念して2003年(平成15年)に始まりました。コロナ禍や台風の影響により中止期間はありましたが、2022年(令和4年)より再開し、2023年で21回目の開催となります。

さまざまな環境や社会が変化する中、広く市民・企業・団体の方々から、これからの持続可能で平和な社会を目指し、「花とみどりの力」がもつ可能性を日比谷公園から世界に発信している取り組みです。

当協会は、2009年(平成21年)より参画をしています。インパクトのある腐朽した幹の展示をはじめ、街路樹の腐朽被害や、樹木診断方法、街路樹診断士の紹介などの写真やポスターを展示しています。そして新たにアーバンフォレストに関するパネル展示や、会員の皆様からのアーバンフォレスト写真コンテスト(並木・都市樹木)における作品の写真展示や、リーフレットを作成して、美しい街路樹、都市樹木の写真に多くの来場者からの関心が寄せられました。

新型コロナウィルスの感染拡大は、人々のライフスタイルや価値観にも影響を及ぼし、都市における緑の役割は大きくなっています。

国土交通省より、事業者が取り組みやすく投資家、金融機関にとっても投資判断がしやすい環境を整備するため、「社会的インパクト不動産」の実践ガイダンスが公表されました。その社会課題では14の項目があり、緑・景観の形成もその一つに含まれています。日比谷公園ガーデニングショーを通じて、街路樹や公園樹木の診断技術における情報発信を継続していきます。

3年ぶりに開催された第20回日比谷公園ガーデニングショーへの出展状況

7-03

ホームページ開設とリニューアル

当協会のホームページは、2003 年（平成 15 年）より運用していました。スマートフォンやタブレットでの使用には対応していないことや、セキュリティ面の安全性にも配慮して、2020 年（令和 2 年）11 月にリニューアルを行い、最新の情報を発信しています。

コンテンツについては、当協会概要をはじめ、協会からのお知らせ、街路樹診断士、街路樹診断・樹木のリスクマネジメント、書籍案内、会員専用ページ、そしてアーバンフォレストの大きく 7 項目に分類しました。

ページ閲覧数では、トップページ、街路樹診断士、アーバンフォレストが常に上位に入っています。キーワード検索では、街路樹診断協会、アーバンフォレスト、街路樹診断士が上位にあり、最近では、i-Tree の検索も多くなってきています。ユーザー数の推移では、2020 年 11 月時点では 79 に対し、2023 年 5 月時点では 903 と約 11 倍に伸びてきています。ページ閲覧数では、同比較で 893 から 7,723 と約 9 倍となっています。各委員会との連携を基本に、常に信頼ある最新技術の情報発信を心掛けて継続しています。

2022 年に事業委員会が会員向けアンケートを実施した際に、動画配信の要望が多くあり、各種セミナーやアーバンフォレストに関する動画配信を充実させてきています。

会員各社様の事業推進に少しでも寄与できるよう、「ホームページの各会員企業からのリンク付機能」を随時、受け付けています。この機会にぜひ、手続きを進めていただくようお願い申し上げます。

「人と自然が共生する安全な都市樹木を目指して」をキャッチフレーズとして、さらなる協会の充実を図る所存でございますので、引き続きのご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

リニューアルしたホームページのトップ画面